

令和５年度 大阪狭山市公の施設の指定管理者 評価結果表

施 設 名	大阪狭山市立公民館
指定管理者	アクティオ株式会社
指 定 期 間	令和２年４月１日～令和７年３月３１日（５年間）
所管部署名	教育部 生涯学習グループ
指定管理料	７１，３８６，１４７円（令和５年度決算額）

１．指定管理の概要

(1)指定管理施設の概要

所 在 地	大阪狭山市今熊１丁目１０６番地
事 業 内 容	実際生活に即する教育、学術及び文化に対する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とし、貸館事業のほか、プラネタリウム投影、各種講座、定期イベントを行う。
施 設 内 容	児童室、工作室、調理実習室、多目的室、展示フロア、茶道室、和室、プラネタリウム、集会室１・２、大集会室、講習室、会議室１・２、赤ちゃんの駅、トイレ（男女各２ヶ所、多目的トイレ１ヶ所）

(2)指定管理者の概要

団 体 名	アクティオ株式会社
所 在 地	東京都目黒区東山１丁目５番４号 KDX 中目黒ビル６階
主 な 事 業	・指定管理者制度に基づく公の施設の管理委託 ・美術館、博物館等文化施設の案内、受付、誘導等運営に関する請負業務 ・博覧会、展覧会、展示会、見本市、各種会議等の調査、企画立案、実施運営 ・都市計画、都市再開発、緑化工事の設計監理の受託業務 ・文化、スポーツなどの催事の企画、制作並びにその運営と実施 ・商品開発及びその販売促進に関する企画と実施 ・特定労働者の派遣及び一般労働者の派遣業務 ・商品の販売のための企業内社員教育及び訓練の企画と実施 ・印刷物、書籍、出版物の企画サービス並びに販売等

2. 評価の結果

評 価 項 目	評価点	
	一次評価 (指定管理者 の自己評価)	二次評価 (市の評価)
1. 市民の平等利用、サービス向上、利用促進について		
(1)市民の平等利用、サービスの質の維持・向上について	3	3
(2)施設の利用促進について	4	4
2. 適正な管理運営について		
(1)管理運営の実施状況について	3	3
(2)安全対策、危機管理体制について	3	3
3. 管理経費の縮減等について		
(1)指定管理に係る費用について	3	3
(2)経費の縮減に向けた創意工夫について	3	3
4. 課題への対応について		
(1)提案内容や改善すべき点への対応について	4	4
合 計	23	23
【総合評価】	A	A

3. 「2」における評価の理由

指定管理者 の自己評価	優れていた点 ・ 当たり前のことではあるが、安全に、そして気持ちよく施設を利用して頂けるよう努め、事故などなく 1 年を終えることができた。 ・ 窓口対応、電話対応については、利用者の意見、要望に対し、迅速に対応することができ、アンケート結果においても高評価を頂いた。 ・ 施設の老朽化に対し、巡回点検による、問題箇所の早期発見に努め、応急処置、修繕など、必要な対策を迅速に行うことができた。 ・ 「はばたきフェスタ」「新春こどもまつり 2024」「街のすぐれもの紹介デー」「ふれあいライブ」「GOCCHA DANCE LIVE」「わくフェス」など多くの催しを関係機関、市民、団体のみなさんと会議等を重ね、趣旨にあった事業を実施することができた。また、これらの機会を通し、団体、個人がつながる機会をつくることができた。 ・ 共有スペースや空き室の利用からスタートした「放課後☆公民館」「よりどころ in こうみんかん」「ふれあいピアノ」などを通して、貸館、講座、イベントだけでなく、日常の中で、公民館を利用される方が増えた。 ・ 高校や小学校との連携が叶い、「おでかけ公民館」として、より多くの児童、生徒に社会教育発信の学びの機会を提供することができた。 ・ 学校との連携の結果として、公民館で生徒の活躍の機会をつくることが
----------------	---

	できた。 ・様々な連携先と協働事業ができたことで、幅広いテーマ、対象者に対して事業を行うことができた。 改善すべき点 ・年度内に連携、協働も申し出等もあり、年間を通して数多くの事業を実施しているが、数だけでなく、一つ一つの事業を丁寧に取り組み、より一層、目的に沿ったより良い機会になるように努める。 ・「こどもまんなか」が問われる中、こども自身が受け身ばかりでなく、主体となるチカラを発揮する機会や“こども”のを知る機会を今までより多く用意できるよう努める。 ・施設の老朽化が進む中、地震などの災害時の対応のシミュレーション、応急処置など再確認し、有事の安全対策にも努める。 提案内容、前年度の改善すべき点への対応 ・実施できない事業もあったが、それ以上にその他の事業では、創意工夫を行い、目的に沿った事業を実施することができ、市民が主体的に関わる機会や個人、団体がつながる機会を多くつくることができた。 ・これまでの繋がりも大切にしながら、新たな連携先とも、対話しながら事業をつくることができた。 ・より一層、地域に開かれた公民館としての取り組みができた。
市 の 評 価	優れていた点 ・利用者のニーズに応え、安全面にも配慮した環境整備を行うことができていた。 ・各種イベントについて、コロナ禍を経ての実施の方法等を団体とともに考えることができています。また、教育委員会の施策を踏まえたテーマで講座を企画するなど、柔軟な発想で事業実施をすることができています。 ・関係機関・団体等との連携強化が図れていた。また、近隣の大学及び高校とも事業を通して地域とのつながりや交流の場ができています。これまで公民館からの発信で取り組みされていることが多かったが、各所から発信に応える形も見られることは評価できる。 改善すべき点 ・学びのテーマを選択し事業企画することはできているが、実施までに至らなかった。市民が参加しやすいきっかけや仕掛けを再考しながら、実施できるように引き続き取り組むこと。 提案内容、前年度の改善すべき点への対応 ・事業の企画段階から地域との連携に心掛け、公民館が地域に開かれた施設であることを意識しながら実施ができていた。また、年代問わず様々な世代が主体性を持ちながら事業に参画していることができており、ひとりひとりが活躍できる場づくりを心掛けて取り組むことができています。 ・施設利用者以外の来館者にも目を向けた取り組みがなされており、だれ

	もが来館しやすい環境を作り出すことができている。また市内の学校とも積極的に取り組みがされており相互に連携が図れていることは評価できる。
--	---